

社会学の考え方

第2回 常識をうまく手放す ー 集計データから考える

佐藤俊樹

「※:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。」

1.1 三人の社会学者

エミール・デュルケーム(1858～1917年)

ゲオルグ・ジンメル(1858～1918年)

マックス・ウェーバー(1864～1920年)

エミール・デュルケーム



ゲオルグ・ジンメル



マックス・ウェーバー



1.2 二つの鍵概念

- ① 「常識をうまく手放す」
- ② 「社会が社会をつくる」

1.3

デュルケーム『自殺論』(1898年)

常識:「自殺は個人の不幸や病気から起こる」

→「自殺率の水準は社会の凝縮性が変化することで変化する」
「自殺率の水準」も「凝縮性」も社会

ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
(1904-05年、1920年改訂)

常識:「資本主義は個人の欲望がうんだ」

→「近代資本主義の制度はプロテスタンティズムの倫理から生まれた」

「近代資本主義」も「プロテスタンティズム」も社会



Émile Durkheim

Le suicide

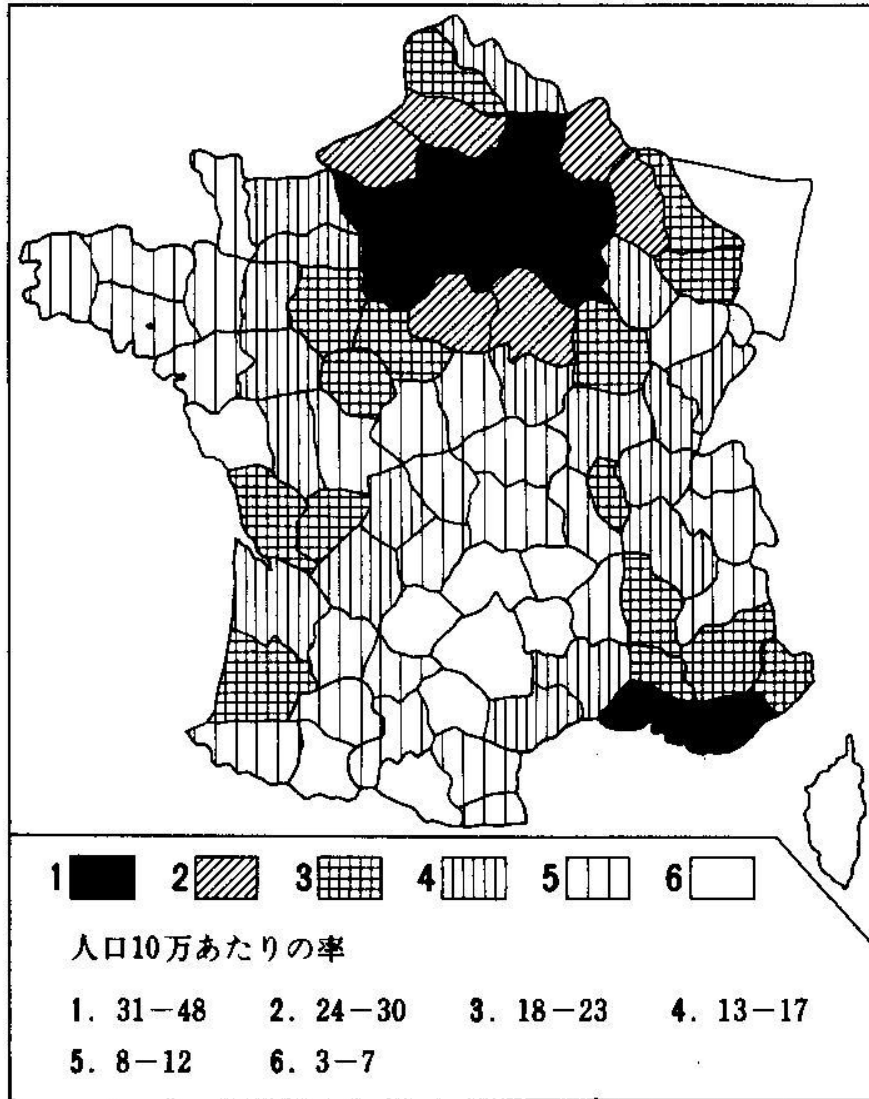
Introduction de Serge Paugam

puf

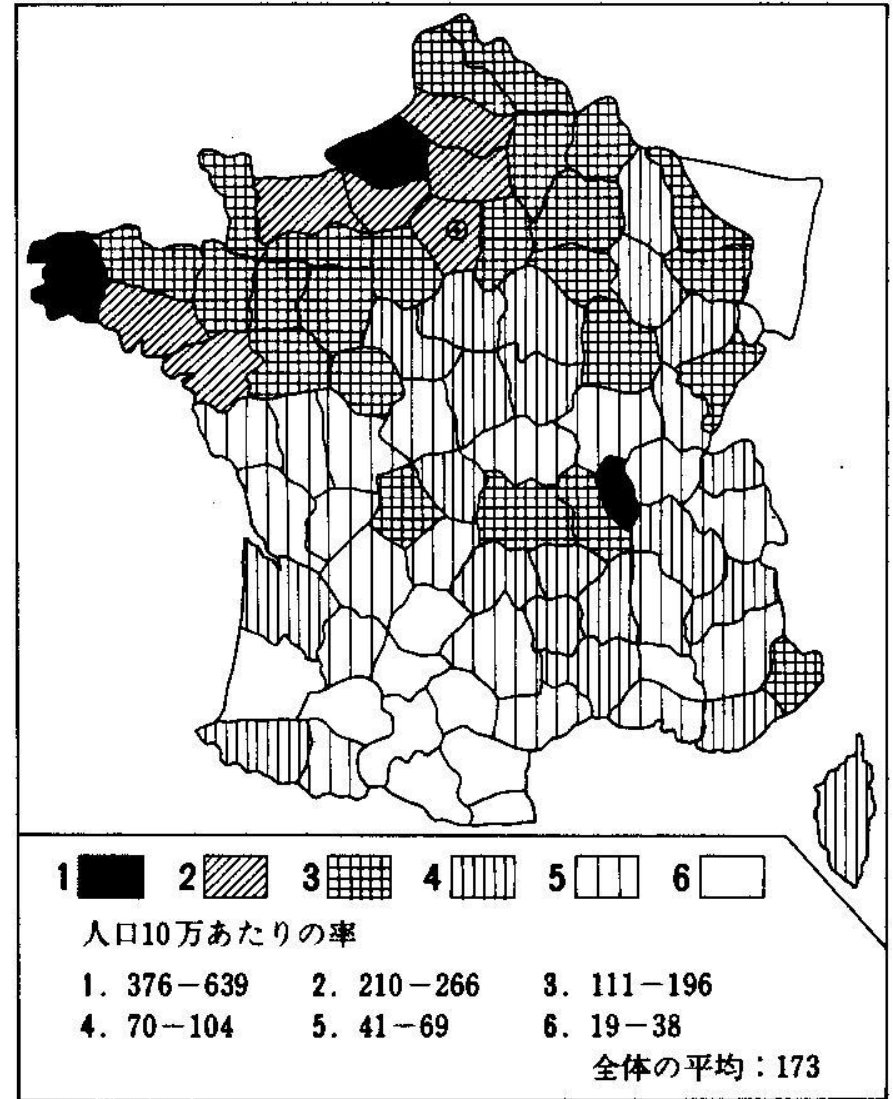


第1図 自殺とアルコール中毒

自殺(1878-1887)



過飲酒による犯罪(1878-1887)



2.1 常識を手放すいろいろなやり方

「〇〇思想」や「△△理論」

構造主義からポスト構造主義、構築主義・・・

最近は「X X 2.0」

二つの特徴

①新しさを強調する

→「古いものはみんなダメ」

②手軽さ(低コスト)を強調する

→「これだけわかればよい」

2.2

例えば「X X 2.0」なら

- ①1.0より新しい
- ②1.0は知らなくていい

その結果……*厨二病*の蔓延

「自分(たち)だけが社会を本当に知っている
他の人間はみなバカ」

ただ「手放す」だけでは×

2.3 常識をうまく手放すとは？

「常識は正しい」

……当事者の世界

→「「常識は正しい」は正しくない」

……社会学Ver1.0

……「〇〇思想」や「△△理論」

→「「「常識は正しい」は正しくない」は正しくない」

……？

2.4 「「常識は正しい」は正しくない」 は正しくない」の二つの回答

α : 「「常識は正しい」は正しくない」は正しくない」
＝「常識は正しい」

…… 反社会学

β : 「「常識は正しい」は正しくない」は正しくない」
≠「常識は正しい」

…… 社会学Ver1.5?(^o^)

2.5 二重否定は肯定と同じ？ちがう？

論理学では古典論理と直観主義論理
→どちらだけが正しいとはいえない

でも α と β のどちらをとるか
で 考え方は全く変わってくる……

α : 反社会学の例

パオロ・マッツァリーノ『反社会学講座』

(イーストプレス2004年、ちくま文庫2007年)

反社会学講座

パオロ・マツァリーノ

Paolo Mazzarino

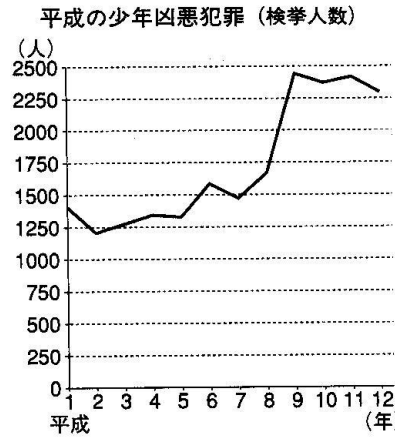


ちくま文庫

✠ パオロ・マツァリーノ『反社会学講座』筑摩書房 2007年

第2回 キレやすいのは誰だ

少年の凶悪犯罪は本当に増えているのか
まずは次のグラフをご覧ください。



私はこのグラフを新聞、雑誌、テレビなどで何十回となく見た記憶があります。おそ

らくみなさんもそのはずです。

社会正義に燃える識者やコメンテーターは、このデータをもとに、「凶悪な少年犯罪の増加は、統計に裏づけられた事実である」「近頃のこどもはすぐキレて、見境もなく人を殺す」「おちおち中学校のそばも歩けやしない」などと分析します。

カウンセラーという職業の人が書いた、少年非行についての本にも掲載されていました。これみよがしに、冒頭にこの統計グラフを掲げ、少年犯罪の急増を示唆します。当然、読者は不安な気持ちでいっぱいになります。

「そうよねえ、毎日のようにマスコミでは事件が報道されているし、やっぱり統計で裏づけられてるのね。ところで、うちの子は大丈夫かしら。最近ピアスの穴なんか開けたし、家に帰ってもちっとも話もしないし。不安だわ……」

こうなれば、しめたものです。読者はページをめくらずにはいられません。そして、著者がいかに長年カウンセラーとして少年たちと向き合い、非行を見事に解決してきたかを知ることになるのです。親御さんは、このカウンセラーに相談することを決意し、カウンセリング業務は大繁盛です。

前回、マッチポンプという言葉に触れましたが、まさにこの本はそのやり方を実践しています。ガンの恐怖を説いたあとにガン保険を勧めたり、ダニの脅威を説明したあとに布団の丸洗いを勧めるなど、セールスのテクニックとしては古典的な部類に属します。

2.6

「第二回 キレやすいのは誰だ？」
先ほどの図式にあてはめれば

常識:「平和で安全な日本」

→「平和で安全な日本」は正しくない

……社会学Ver1.0

2.7

例えば……

一見平和そうに見えるが社会が崩壊しつつある
←その予兆としての少年犯罪の凶悪化と不透明化
＝「社会の底がぬけている！」

（宮台真司・速水由紀子『サイファ 覚醒せよ！』筑摩書房2000年、ちくま文庫2006年）

……と警鐘を鳴らす社会学＆マスコミ

1 「社会の底が抜けた」存在はなぜ出現したか?

少年の「まったり殺人」の根源にあるもの

宮台 今年(二〇〇〇年)の五月のゴールデン・ウィークに、愛知県豊川市の高校生による主婦殺し^①、佐賀市の高校生によるバスジャック事件^②、と、僕の言っているいわゆる「まったり殺人」——憎しみや殺す理由を欠いたように見える殺人——が連続しましたので、このことについて若干述べてみたいと思います。

「社会」と「世界」が未分化な原初的共同体では、「社会」「世界」は面識圏(顔見知りの範囲)であり、なおかつ「昨日あったように今日もあり、明日もあるだろう」という「慣れ親しみ」に満ちています。ところが「社会」が複雑になって面識圏を超え、「社会」の外に、「社会」に属さない「世界」が広大に拡がると信じられるようになる段階では、こうした「慣れ親しみ」は消えて、それまでの「社会」ではありそうになかったことを「信頼」するようになります。僕たちの「社

会」は、もちろんそういう段階です。

僕は授業ではこんなふうに説明しています。君たちは、僕が宮台真司であり、ここが都立大の講義だと信頼して、ここにやって来ている。でも、君たちは、僕が本当に宮台真司なのか、宮台真司が本当に都立大の教員なのか、ここが本当に都立大なのか、ちゃんと確かめていないだろう。しかし、確かめようとしても、原理的にできない。たとえば僕が都立大の教員かどうかは事務に確かめれば分かると思うかもしれないが、今度はその人が本当に都立大の事務の人であることを確かめなければいけない。結局は無限後退してしまう。つまり僕たちは、少し探求するだけですぐ「底が抜けて」しまってもかわらず、辛うじて、ありそうもない前提を互いに踏まえたつもりになって、社会生活を営んでいる。それが、「慣れ親しみ」が優位な原初的共同体ではなく、見知らぬ匿名者に対して役割ゆえに「信頼」を与える複雑な社会システムを生きたということであるのだ、と。

ところが昨今の社会システムには故障が生じて、「底が抜けない」ように辛うじて支えてきた社会的装置が働かなくなってきました。たとえば八〇年代半ば以降、日本では「コンビニ化・情報化」が進んで、Eメールと宅配があれば、どこにも行かず、誰とも会わず、暮らせる

(1) 二〇〇〇年五月一日、愛知県豊川市の少年が民家に侵入、主婦を金づちで十数回殴り、包丁で約四十カ所刺して殺害。少年は殺害の動機を「人を殺す経験をしたかった」と供述した。検察側精神鑑定では、思春期特有の分裂傾向があるものの、十分な責任能力があるとされた。

(2) 二〇〇〇年五月三日、佐賀市の高校生が西鉄高速バスを乗取り、乗客らを殺傷した。少年は高校中退後引きこもり気味となったが、母親が電話相談した精神科医町澤静夫の進言で精神病院に措置入院させられ、一時帰宅中の事件だった。少年は措置入院を恨み

に思い、世間を騒がせようと思ったと供述している。その後、責任能力はあったとされ、医療少年院送りが決定された。

(3) 人を殺すことの数居が低くなった者による殺人を意味する宮台用語。マスコミでは不可解な少年殺人事件の動機分析に明け暮れるが、数居が低ければ複雑な問題が殺人行為の引き金をひく以上、無意味である。むしろ人殺しの数居が低くなった理由の分析だけが必要だ。

(4) 社会システム理論では、親族原理が支配する諸部族が横並びに分布する環形的に分化した「原初的共同体」から、階層的に分化した「高度な社会」を経て、機能的に分化した「近代社会」に到ったと記述する。ルーマン「宗教社会学」(新泉社)参照。

(5) 近代社会では役割によって見も知らぬ(慣れ親しんでいない)匿名者に信頼を寄せるが、慣れ親しみが優位する共同体的な生き方から見れば、確かにありそうもないことだ。

ようになった。他者との社会的交流抜きで基本的な社会生活が送れるようになったわけです。他方で、七〇年代半ば以降、家庭や地域の「学校化」が進んで、他者との社会的交流を通じてというよりも、学校でちよつと成績がいい程度のもので、学校でも家庭でも地域でも全面的に肯定されるようになりました。

「脱社会的存在」の社会的理解

主要には、この「コンビニ化・情報化」と「学校化」が重なり合うことで、最近の若い人たちは、自己形成——尊厳の獲得——において、他者との社会的交流での試行錯誤を免除されるようになってきました。言い換えれば、他者や社会とまったく無関連な場所に、自らの尊厳を樹立することができるようになりました。その結果、モノと人の区別がつけられず、まったり人を殺すことができるような「脱社会的存在」が出現してくるようになったんです。「反社会的存在」が、コミュニケーションの可能性を信頼しつつ、エスタブリッシュメント（既存体制）に敵対するのだとすれば、「脱社会的存在」は、コミュニケーション・シヨンの可能性を信頼できない「底が抜けた存在」です。

ちなみに、「コンビニ化・情報化」と「学校化」が重なって進行するようにになった八〇年代以降、統合失調症の報告件数は、急速に減ってきています。これは、他者とのコミュニケーションを通じて尊厳を樹立する必要を免除され、あるいは、他者とのコミュニケーションを通じて社会生活を営む必要を免除されたために、後で言うような、コミュニケーションの文脈に反応できないことによる混乱を、回避できるようにになったことが大きいと考えられます。しかし、この同じ条件ゆえに、今度は、統合失調症ではないのに、それどころかどのような精神疾患でもないのに、本人や周囲がまともな社会生活を送れないと訴える「底が抜けた存在」が、急増してくるようになります。

これが「人格障害」「行為障害」と呼ばれるものの、社会学的にみた場合の正体です。「底が抜けた存在」は病気ではありませんから、精神科で治療することはできません。せいぜい精神安定剤を処方したり、病気でもないのに町澤静夫のようなインテリ診断を下して措置入院をさせることができるくらいです。もちろん「底が抜けて」いる、つまりコミュニケーションを通じて達成の外側にいる人たちだから、カウンセリングによって自己を組み立て直すことも困難で、児童相談所や学生相談室でもお手上げです。

(1) 家や地域社会が学校の価値の物差しで二元化されるといふ、七〇年代半ば以降の日本の現象を指す宮台用語。イワン・イリイチが、全ての人間に学校を透過させることで近代の価値を浸透させるという意味で使った「学校化」とは異なる概念。宮台「まぼろしの郊外」(一九九七年、朝日新聞社刊)参照。

(2) 日常用語では、人が人らしくいられるための本質的条件を指すが、社会思想史上、大いなるものとの一体化を尊厳と見なす極端國的(共同体的)思考と、試行錯誤で獲得した個人的な自尊心を尊厳と見なす連合國的(市民社会的)思考がある。ここでは後者の意味。(3) 精神病や神経症など病理カテゴリーに属さないのに、まともな社会生活を送れないと周囲や本人が訴えるケースが激増したのに対応して生まれたのが人格障害カテゴリー。八〇年にアメリカ精神医学会が制定した精神疾患診断統計マニュアル(DSM)が診断基準に用いられる。現在は九四年改訂の第四版。可塑性の高い十八歳未満には行為障害の概念が用いられる。

れる。

(4) 一九四五年生まれ。精神科医。町澤メンタル・クリニックの他、複数の病院で診療し、マックスにもしばしば登場している。佐賀バスジャック事件前、犯人の少年の母親が電話で息子の状態を町澤氏に相談し、入院を指示された。「ボーターライン」「醜形恐怖」など著作多数。

(5) 座敷牢を認める精神病患者監護法に代わり一九五〇年制定の精神衛生法は、自傷他害の恐れがある精神障害者を精神科医の診断に基づき、都道府県知事の命令で強制入院させることを認めた。現在、精神衛生法は精神保健福祉法に、強制入院は措置入院と名前を変えたが、本質は同じだ。

(6) 児童福祉法に基づき設置。養育上の問題、いじめ、不登校、非行など、十八歳未満の児童に関する相談に、ケースワーカー(児童福祉司)、心理判定員、保健婦、医師らが応じる。

(7) 大学に設置される学生用カウンセリングルーム。大学内の諸機関から独立して守秘義務を守りながら、常駐するカウンセラーが

2.8

ところが

現実のデータでは

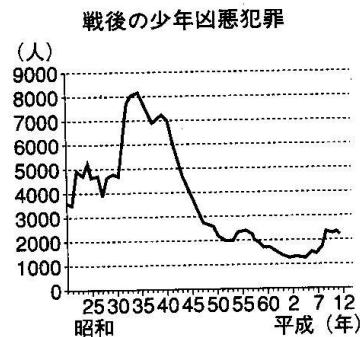
- ①殺人率は長期低下傾向にある
- ②動機不明殺人は昔からあった

→ α :「「平和で安全な日本」は正しくない」は正しくない」
.....反社会学

「こんな子供だましのトリックを使ってマスコミは.....」

「マスコミのお偉方は.....過去のデータを故意に伏せていたのです」(『反社会学講座』)

いったい何時代のお話なのでしょう？
 それでは殺人・強盗・強姦・放火の四種をすべて合計したグラフをお見せします。



じつは、今回しょっぱなでご覧にいたグラフは、これの右端約一〇年分だけを拡大したものでしたのです。呆れてものもいえません。こんな子供だましのトリックを使つて、マスコミは、いまの少年たちが凶悪であるかのように臭わせ、大衆をダマしていたのです。

最も少なかった平成二年と、最も多かった昭和三五年では、件数の差は六・九倍にもなります。というわけで、本日ここに戦後最もキレやすかった少年が決定致しました。

グランプリは昭和三五年の一七歳、つまり昭和一八年生まれで平成一六年現在六一歳のみなさんです。おめでとうございます。

低年齢化していない凶悪犯罪

ついでにいわせていただくと、テレビゲームで子どもがキレるというのもウソだとわかりました。昭和三〇年代には素晴らしく高性能なゲーム機など、存在しなかったはずです。食べ物をキレる原因とするのも無理があります。だったら、当時の給食でおなじみのクジラ肉や揚げパンは、ファストフードより遥かに危険な食品だという結論になってしまいます。

さて、「凶悪犯罪の低年齢化が進んでいる」というご意見も検証しておきましょう。低年齢化が叫ばれている割には、一三歳以下の少年による犯罪、触法少年犯罪のデータについては、まったくといっていいほどマスコミの話題にのぼりません。もしそれが年少者の人権への配慮なのだとしたら、私はこれからタブーを犯すことになりましたが、「犯罪者に人権などない！」と新橋の居酒屋でとなりの席のオジサンが断言していましたので、かまわないでしょう。

一三歳以下の少年による凶悪犯罪は、その八割が放火で占められています。殺人などは微々たるものであり、年ごとにばらつきが大きくなっています。そこで一〇年ごとの

3.1 日本の世代別殺人率の特異性は どう語られてきた？

(1) 学術的に発見されたのは 2000年

長谷川寿一・長谷川真理子「戦後日本の殺人の動向」『科学』70(7)

若者の方が人を殺すのは1970年代まで
80年代以降は中高年の方が殺す

日本の60年代生まれ以降は特に人を殺さない

毎月1回1日発行・2000年7月1日発行・1948年11月24日第3種郵便物認可 ISSN 0022-7625

科学

Science Journal **KAGAKU**

7

VOL.70 No.7 JULY 2000

戦後日本の殺人動向

コウノトリの野生復帰

有珠噴火の火山情報

原子力の経済性と安全性

小脳が獲得する内部モデル

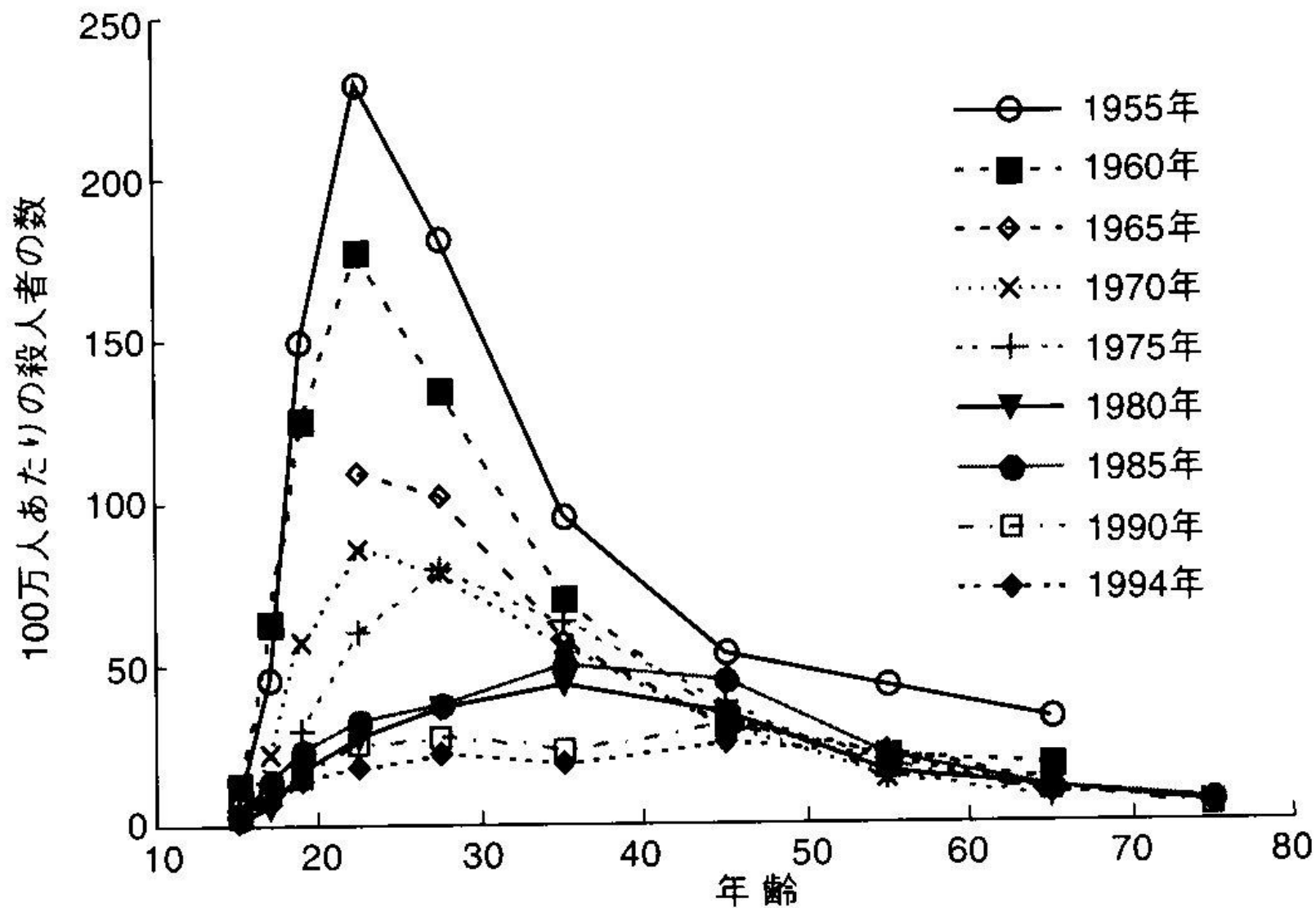
空からみた海上の森



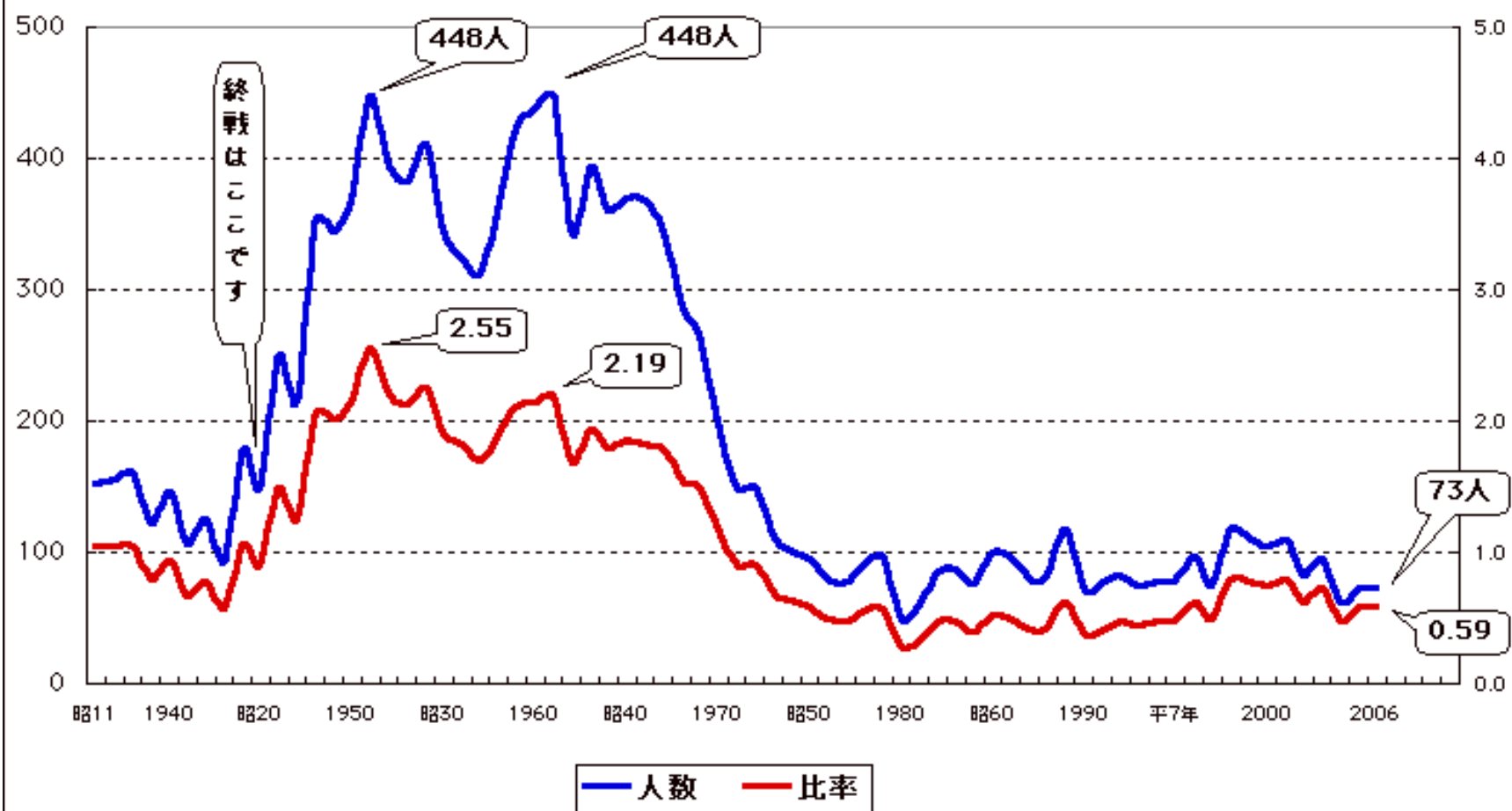
岩波書店

+

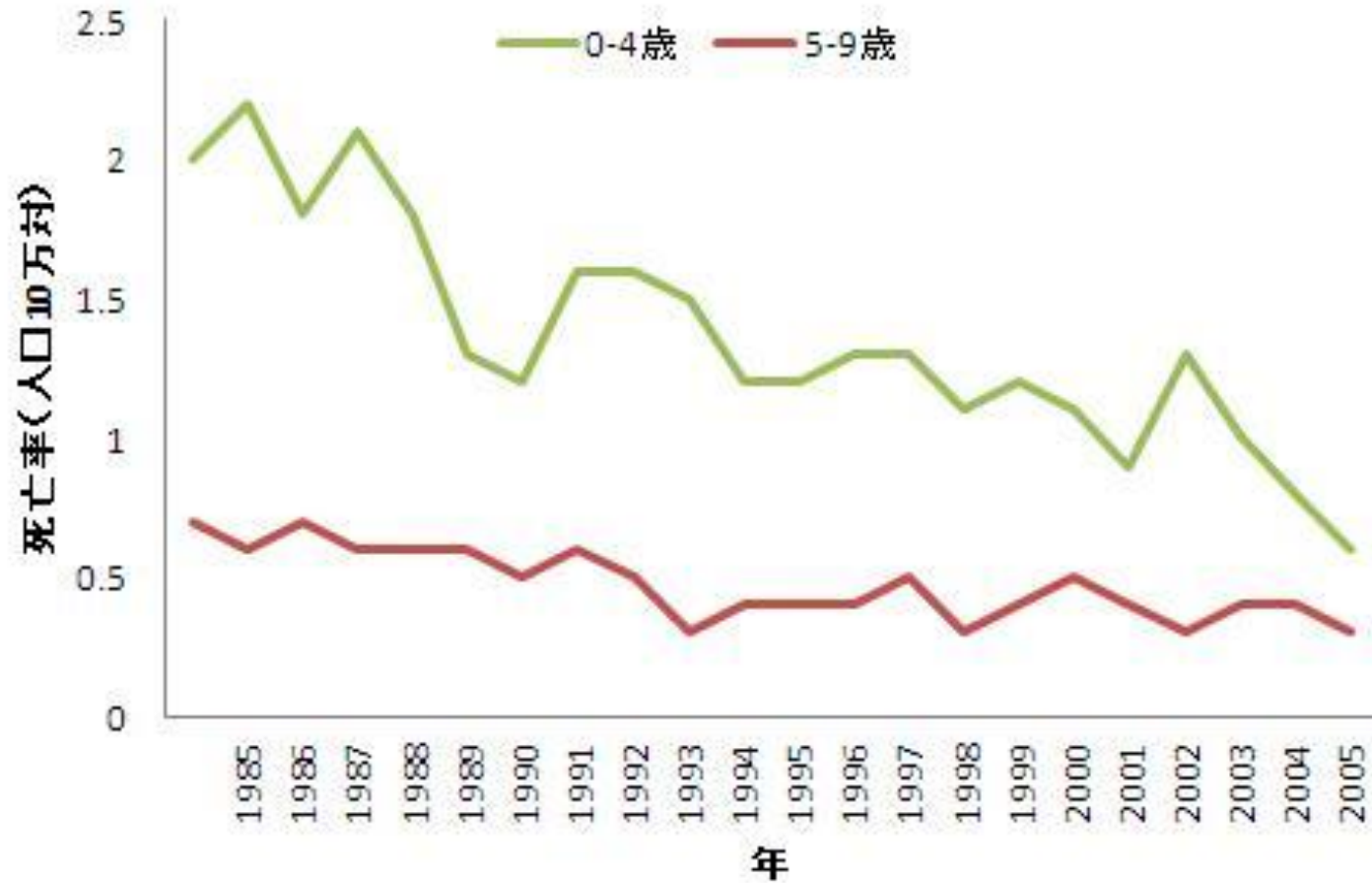
科学, 70(7月号)2000年, 岩波書店



未成年の殺人犯検挙人数と少年人口(10～19歳)10万人当りの比率



年齢層別他殺による死亡率の推移



3.2

……ここまではマッツァリーノさんの言う通りなのだが

(2) マスメディアでの報道は2003年4月

朝日新聞4/4朝刊3面「こんな私たち白書⑤日本の若者は殺さない 上」

(3) 『反社会学講座』の単行本初版は2004年6月

え！？

「マスコミのお偉方は……………」じゃなかったの？

3.3

たしかに1990年代後半～2000年代前半のマスメディアの多くや有名な社会学者は「社会の底が抜けている」的に語っていた

しかし全てがそうだったわけではない

例えばなぜ私が(2)を知ったのか？

当時私は朝日新聞の紙面審議会委員をやっていてこの記事を
誉めたから

その発言も朝日新聞に載っている

私も社会学者だし 朝日新聞もマスコミだと思うのだが・・・

3.4 『反社会学講座』の教訓

- ①先入観を否定する際に別の強い先入観をもちこみやすい

例えば「マスコミは不安を煽る」「社会学者は話題性を好む」とか

→反社会学の背後にもそうしたマスコミや社会学への常識がありそう

だから朝日新聞を実際には読まずに書いてしまったのだろう

マスコミの報道を調べずに「マスコミは……」と語った点で、実は同じことをやっている

3.5

②他人が「大衆」なら自分も「大衆」

2000年代前半に少年犯罪言説の転換の波が起きていたのでは

→朝日新聞の報道も『反社会学講座』もその一つ

同じ波に乗っている点で、どちらも新たな常識づくりの一環

むしろ『サイファ』が乗り遅れた……

「最先端」を語る怖さ

宮台真司

速水由紀子

写真 ホンマタカシ

サイファ 覚醒せよ!

世界の新解読ハ"イブ"ル

私たちの〈空虚〉を超えて

サイファ。それは「世界はなぜあるのか」を根元的に問う
営みのすべてが共通につきあたる、ある種の暗号のことです。

サイファを解読することで、

あなたは「世界に触れる」ことができます。

あなたがここにいることの謎に答える、覚醒のための一冊。

——『終わりなき日常を生きろ』待望の完結編——

筑摩書房 定価(本体価格1600円+税)

3.6

現実の社会は

複数の常識の複合体で 常識も変化
その内部に私たちは生きている

一番の問題は？

その複合体を

一枚岩のようにみなして

その外部に自分は立てると思うこと

↔別の常識を無反省に信じこむ

β :「「常識は正しい」は正しくない」は正しくない」≠「常識は正しい」

↔常識は正しい部分も正しくない部分もある

……と考える可能性と意義

3.7

「常識をうまく手放す」

→外部に立てると思わない

そのための技法の一つ

「他人に当てはまる議論は自分に当てはまる」

＝「自己論理autology」

……社会学Ver1.5の重要な考え方

ニクラス・ルーマン（1927～1998年）

3.8 ただし β は最強の立場ではない

大きな短所もある

①いわゆる存在証明ができない

「Aでない」と仮定して矛盾を導いて「Aである」とはいえない

→論理操作で議論できる範囲が小さい
頭だけで知りうる限界が早く来る

②コストがかかる

どの部分が正しいかは調べてみないと分からない
→頭だけで知りうる限界が早く来る

3.9

でもそれって健全ではないだろうか

『反社会学講座』の二つの教訓

→「自分だけが特別に物事がよく見えている」と信じた瞬間に 厨二病！

その点で β :社会学Ver1.5は悪くない

……と私は考えている(^0^)

4.1 「動機不明の凶悪犯罪はふえている」は正しいのか？

これが常識にせよ反常識にせよ β の立場でいわば「半分」正しい

統計的なデータではたしかに減少

4.2

でも殺人がまれになればなるほど起きた殺人は

- ①大きな不幸や悲劇に感じられ
- ②常識的には理解不能になり
- ③話題性は高まる

＝主観的な「凶悪さ」と「動機不明さ」を多くの人
が擬似的に共有する

4.3

「相対的剥奪」

＝「不幸度は期待水準と現実水準との落差に対応する」

ロバート・K・マートン

殺人がまれになる

→「人が殺されることはあってはならない」という期待水準をみんながもつ

それでも殺人が起こる

→「殺された」という現実水準を関係者は経験する

マスコミを通じてその落差を擬似的に体験した結果が
「動機不明の凶悪犯罪はふえている」と



4.4 類題「若者のコミュニケーション不全」

現在では
若者はコミュニケーションが下手

というより

コミュニケーションへの期待水準や要求水準が高い
→現実との落差に苦しむ人間が出てくる

と考えられている

5.1

新たな仮説

平和で豊かで 人間関係に繊細な社会だからこそ

→「動機不明の凶悪犯罪が・・・」「コミュニケーション不全が・・・」と感じられる

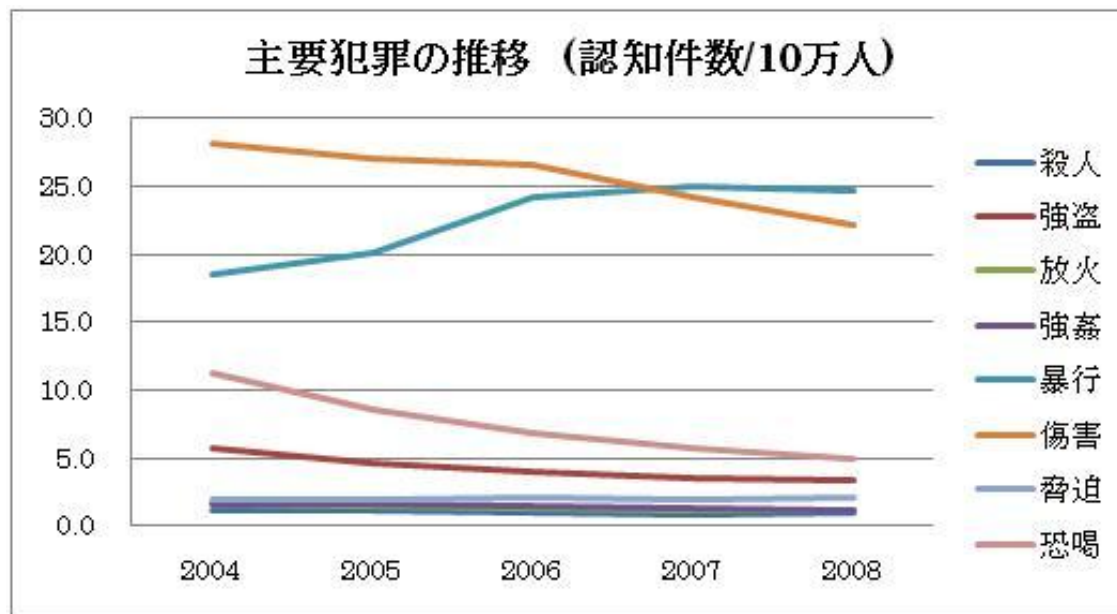
この仮説は裏付けられるのか？

①犯罪統計の動向

5.2

①犯罪統計の動向

まず 日本の中期的な動向では
→明らかに平和な社会



5.2

①犯罪統計の動向

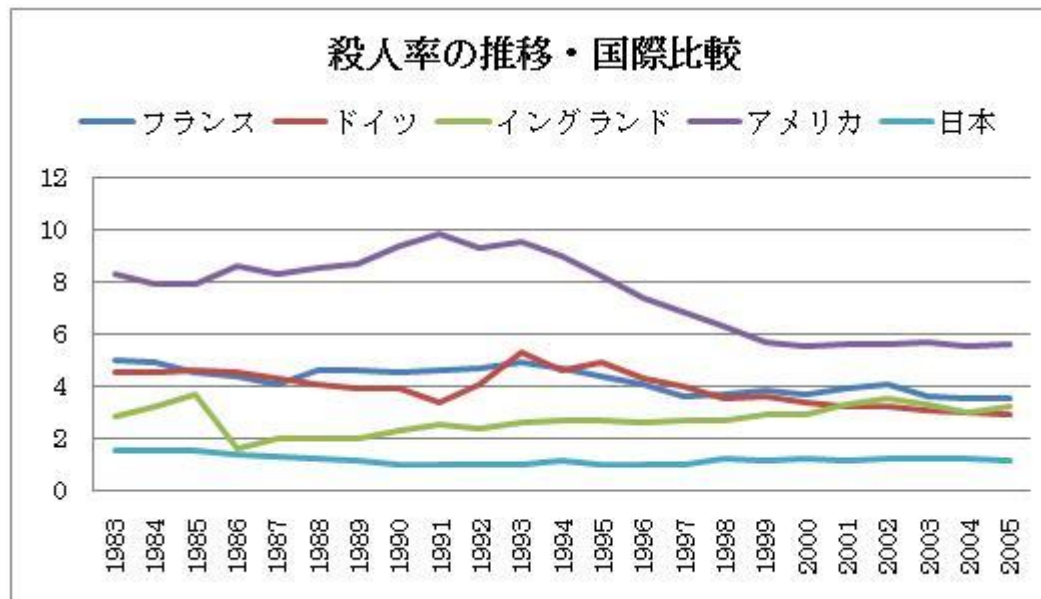
次に 国際比較では

→アメリカ合衆国では80年代に上昇

この時期は少年の殺人率も上昇

→イングランドではじりじり上昇中

すべての先進国が同じ途をゆくわけではない



5.3

②意識の変化

結社・闘争性の推移

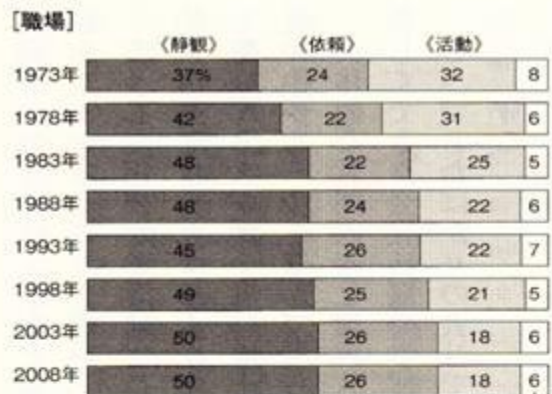
(NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査より)

職場／地域／政治で何か問題がおきたときにはどうするか？

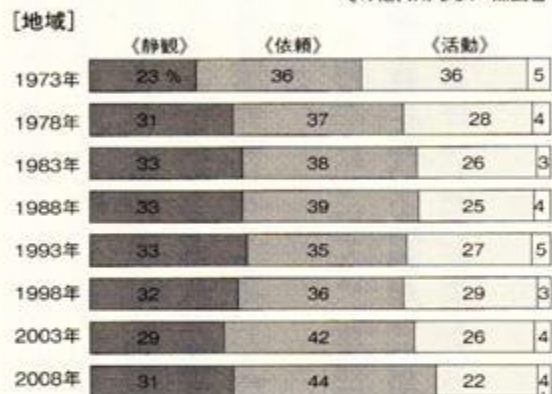
静観(＝何もしない、政治家に任す)が増加か横ばい、依頼(＝上司や有力者や議員に頼む)は横ばいか増加しているが、活動(＝自分で運動する)は減少

→「対立を避ける」傾向が強まっている

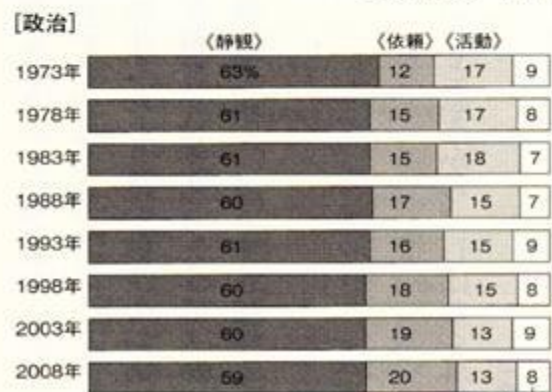
統計数理研究所の「国民性調査」でも



その他、わからない・無回答



その他、わからない・無回答

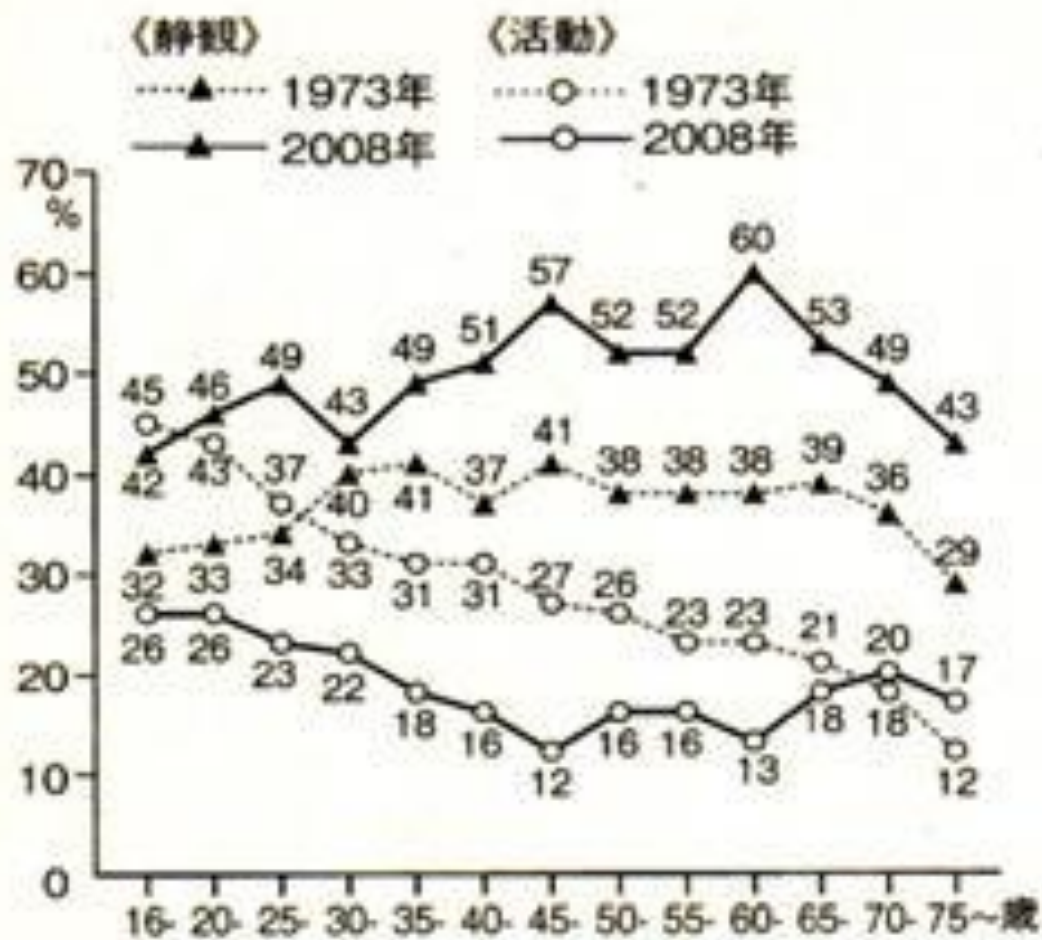


その他、わからない・無回答

図Ⅲ-7 結社・闘争性（全体）

中

NHK放送文化研究所, 日本放送協会放送文化研究所 編
現代日本人の意識構造 (NHKブックス), 第七版版
日本放送出版協会, 2010年, P90図Ⅲ-7



図Ⅲ-8 結社・闘争性「職場」(年層別)

※

NHK放送文化研究所, 日本放送協会放送文化研究所 編
現代日本人の意識構造 (NHKブックス), 第七版版
日本放送出版協会, 2010年, P90図Ⅲ-8

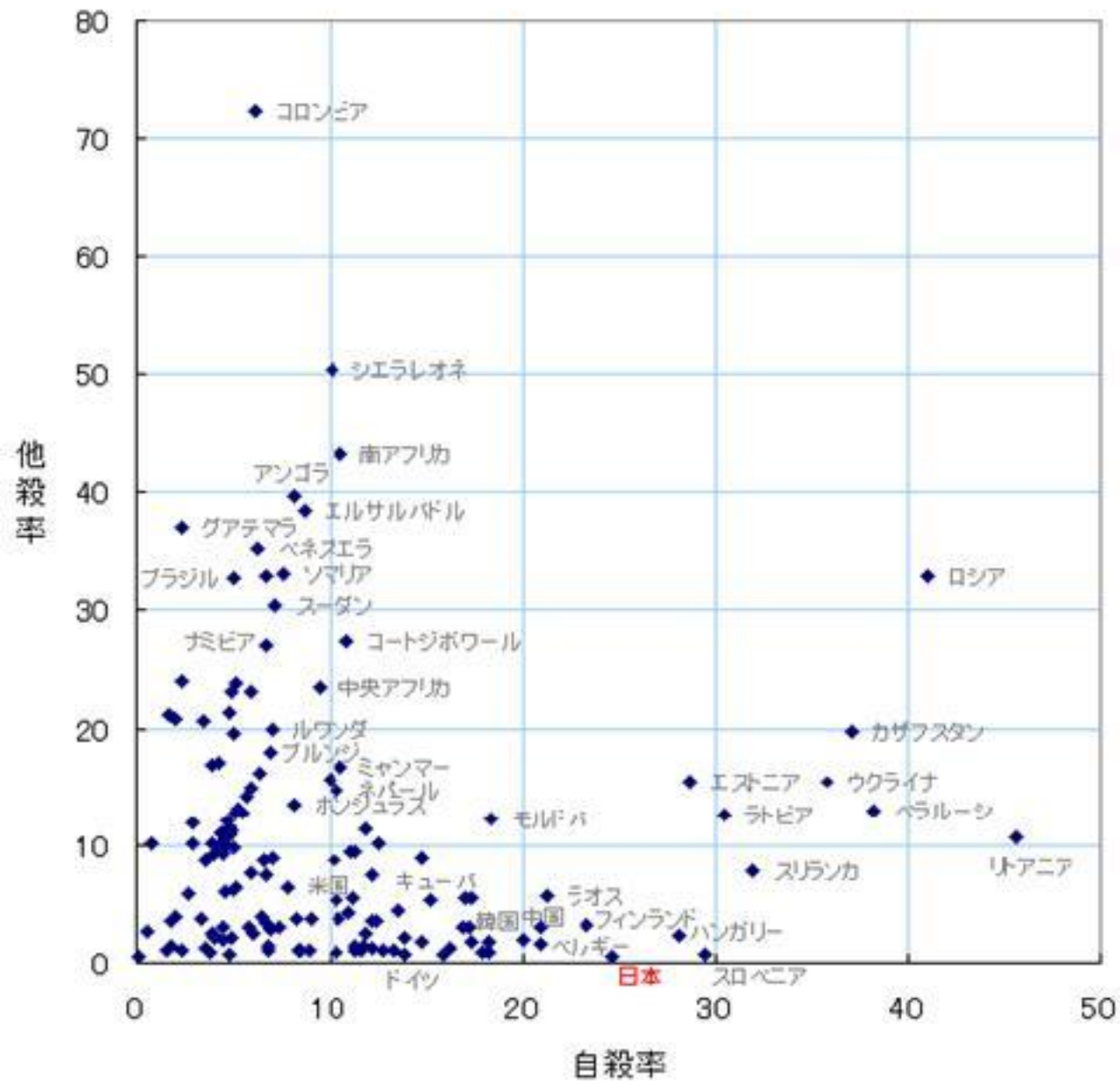
5.4

③他殺率と自殺率

「他人は殺さず自分を殺す」日本人
(本川裕「社会実情データ図録」より)

平和で他人と争わない社会のもう一つの顔！
＝「他人を殺さず」「自分を殺す」こと
で問題を解決する？

世界各国の自殺率と他殺率の相関(2002年)



5.5

図から考えられること

「文明化civilized」の二つの面

＝「他人を殺さない」と「自分を殺さない」

最も文明的なのは

(a)「他人を殺さない」かつ「自分を殺さない」？

＝命の値段の平均値が高い

(b)「他人を殺さない」かつnot「自分を殺さない」？

＝他人を傷つけない